

# 座位自立度尺度

## 【できる座位尺度】

### 1. 床上動作

定義：床上で臥位（仰臥位）姿勢から左右側臥位のいずれかに体位を変換することができる

方法：観察（実際の状況をテスト）に基づいて判断するが、無理に試みるようなことはしない

尺度：0点：自分でできない（不可）

1点：自分でできる（補助具、ベッド柵等の利用を含む）

点

### 2. 起居動作

定義：臥位（仰臥位）姿勢から上半身を起こすことができる

方法：観察（実際の状況をテスト）に基づいて判断するが、無理に試みるようなことはしない

尺度：0点：できない（不可）

1点：介助（介助者、補助具）があればできる

↑要介助

2点：自分で補助具等（ベッド柵等含む）を使用すればできる

↓介助不要

3点：自分でできる

点

### 3. 両足がついた状態での座位保持

定義：座位姿勢に至る起居動作に介助を要するか否かに関わりなく、両足が床（車椅子のフットレスト含む）についた状態で、上半身を起こした姿勢が10分程度保持できる

方法：観察（実際の状況をテスト）に基づいて判断するが、無理に試みるようなことはしない

尺度：0点：できない（不可）

1点：支持（介助者の手による支え、背もたれ等の補助具）があればできる

↑要介助

2点：自分で補助具等（ベッド柵等含む）を使用すればできる

↓介助不要

3点：自分でできる

点

### 4. 片足がつかない状態での座位保持

定義：座位姿勢に至る起居動作に介助を要するか否かに関わりなく、両足が床（車椅子のフットレスト含む）についた状態で上半身を起こした姿勢から、片足を拳上することができる

方法：観察（実際の状況をテスト）に基づいて判断するが、無理に試みるようなことはしない

尺度：0点：できない（不可）

1点：指示（介助者の手による支え、背もたれ等の補助具）があればできる

↑要介助

2点：自分で補助具等（ベッド柵等含む）を使用すればできる

↓介助不要

3点：自分でできる

点

合計

／10点



IV 日常している整容（口腔、洗顔）についてお尋ねします

1) 実施頻度：行う頻度はいかがですか？

0点：右記以外（ ） 1点：毎日

2) 実施場所：主に行う場所はどちらですか？

0点：ベッド上 1点：ベッドから離れた場所（ ）

3) 実施姿勢：整容を行うときの姿勢はいかがですか？

0点：臥床のまま

1点：支持（介助者の手による支え、背もたれ等の補助具）あり座位姿勢

2点：支持（介助者の手による支え、背もたれ等の補助具）なし座位姿勢

点

合計  / 20 点

田高 悦子, 金川 克子, 立浦 紀代子, 和田 正美：地域障害高齢者における自立度の測定：座位自立度尺度  
開発. 日本地域看護学会誌. 5 (2): 43-50, 2003. DOI: 10.20746/jachn.5.2\_43